

1. 藤林靖久：分子イメージング元年. 医薬ジャーナル. 42(1), 5-10, 2006, 1.
2. 森 哲也：超高速反応による核種標識は分子イメージングに変革をもたらすか. ファルマシア. 42(1), 71-72, 2006, 1.
3. 藤林靖久：FDG を超える薬剤の開発と実用化はどこまで進むか. INNERVISION. 21(2), 78-80, 2006, 2.
4. 岡沢秀彦, 吉田好雄：基礎研究と臨床開発－福井大学 FES-PET の産婦人科疾患における臨床応用の可能性. PET 通信. 54, 6-10, 2006, 4.
5. 森 哲也, 笠松眞吾, 藤林靖久：基礎研究と臨床開発－福井大学 カセット式FDG自動合成装置を用いたF-18標識フルオロエストラジオールの製造. PET通信. 54, 11-13, 2006, 4.
6. 久下裕司, 佐治英郎, 清野 泰, 横田千晶, 玉木長良, 関 興一：動脈硬化病態の解析と分子イメージング：プロスタグランジン合成酵素を標的として. INNERVISION. 21(7), 18, 2006. 7.
7. 大竹 暁, 伴 貞幸, 飯田治三, 三橋拓也, 今岡達彦, 山田 裕, 柿沼志津子, 王 冰, 金沢洋子, 豊原 潤, 稲玉直子, 中島 学, 古川高子, 佐賀恒夫, 菅野 巖, 岡安隆一：第6回日仏放射線生物学及び画像医学ワークショップ学会レポート. 放射線科学. 49(8), 271-279, 2006, 8.
8. 藤林靖久：日本における分子イメージング研究の現状と展望・学会設立、およびアジア地域との連携. INNERVISION. 21(11) 第248号付録 10-11, 2006, 11.
9. 藤林靖久：分子イメージングの世界 トランスレーショナルリサーチ・技術としての可能性への期待. INNERVISION. 21(12), 1-3, 2006, 12.
10. 上林倫史, 土田龍郎, 伊藤春海, 岡沢秀彦, 田中富美子, 米倉義晴, 田中延宣, 河合康幸, 宮森 勇, 宗宮浩一, 田中考生, 北浦 泰：CD36 欠損症における心筋代謝イメージング I 型と II 型の違い. 福井県核医学研究会記録集. (13), 9-10, 2006.
11. 川人充知, 中野 顯, 白崎温久, 宇隨弘泰, 天谷直貴, 水口敏宏, 阪田純司, 上田孝典, 李 鍾大, 河合康幸, 岡沢秀彦, 米倉義晴：AMI 再灌流後亜急性期における FDG-PET 遅延像での再分布現象. 北陸循環器核医学研究会記録集. (45), 19-20, 2006.